

室神山

学校便り
平成29年5月16日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

誘拐防止教室（1年生）



4月19日（水）の2校時に、警察の方に来ていただき、1年生の誘拐防止教室を行いました。誘拐から身を守る方法や、そうなら

ないための日頃から気をつけることについて、丁寧にわかりやすく教えていただきました。1年生はとても集中して学習をしており、警察の方も感心しておられました。これからの生活の中で、今日学んだことを生かして行ってほしいと思います。

学校探検（1年生）



4月入学して間もない1年生は、学校の生活に慣れるため、学校探検をしたり、遊具や施設の安全な使い方などを学んだりしていました。みんな楽しそうに目を輝かせながら取

り組んでいました。また、給食も上手に食べていました。早く学校生活に慣れてほしいと思います。

授業公開日、PTA総会

4月21日（金）に今年度初の授業公開日、PTA総会を実施しましたところ、たくさんの保護者の方々のご参加をいただき誠にありがとうございました。子どもたちも緊張したと思います。しっかり学習に臨んでいる様子を保護者の皆様にご覧いただいたことは、子どもたちにとっても大きな励みになったことと思います。

PTA総会では、学校経営の説明に加え、次のような内容の話をしました。

「確かな学力」「生きる力」とは何か、自分なりに突き詰めて考えてみたところ、「幸せになる力」とか「日々幸せを感じながら生きる能力」に行きつきました。『愛（神）なき教育は知恵ある悪魔を作る』という言葉も聞いたことがあります。教育は、ただ単に知識や技能を身につければいいというものではありません。高度な知識や技能を身につけても、それを犯罪に使うようでは、意味がないのです。幸せにつながらない学力では意味がないのです。そのためには、全人的な教育は不可欠です。

また、「幸せ」とは何だろうと考えた時、究極的には「感謝できている心理状態」だと考えます。「よかった」→「〇〇さん、～のおかげで」という心の流れができたとき、幸せは益々大きくなります。その時、本心から「有り難い」「お陰様で」と思え、「ありがとう」と言葉になります。人でも、自然でも、神仏でも、事柄でも、何かに感謝できているとき、人は幸せです。また、『人は幸せの度合いに応じて感謝するのではない、感謝する度合いに応じて幸せになるのだ』という言葉もあります。

学校では、日々いろいろなことが起きます。楽しいこと、嬉しいことだけでなく、その逆の辛いことも起きます。しかし、それも一緒にいる仲間との関わり合いがあつてこそ起きることです。様々なことを乗り越えていって、感謝に昇華することができれば、幸福感が強まり、力が湧き、夢が育まれていくはずです。そのため、教育活動の中に、子どもたちが人と関わり合う体験的な活動を多く取り入れたいと思います。昨年度1月の近藤卓先生の講演では、基本的自尊感情について学びました。人との共有体験が大切だと学びましたが、私は、人との関わりや共有体験の中で感謝できるときは基本的自尊感情も育っていると考えます。そして、誉めることも重要です。「誉める」は光る言葉と書きます。誉めると子どもの表情は輝きを放ちます。子どもの顔が明るくなり、輝くような笑顔になる。そんな言葉をかけることを「誉める」と言うのでしょうか。「おだて」ではなく、子どもの存在を真に認める言葉、自分の存在自体に自信をもたせることができる言葉、それが本当の「誉め言葉」と言えると思います。そんな言葉をもらったとき、子どもの中に安心感や基本的自尊感情が育まれると思います。そしてこれは、大人同士も同じです。相手の人権を尊重できている時、きっと自然にそれができているのだと思います。今年度は人権・同和教育の研究指定の2年目ですが、これを良い機会として、授業改善、環境作りや仲間作りに取り組んでいきたいと思っています。そして、私たち教職員も、様々な出来事を学びの材料に変え、最後には感謝できる結末へと導いていけるように、子どもたちの心に寄り添いながら、支援、指導に全力を尽くし、子どもたちの自尊感情を高めていきたいと思っています。

また、私が大学の時に心に残った講義の内容があります。昔、西欧の国で、有名な教育者が国王の前でも帽子を取らなかつたというエピソードです。理由は「教育は子どもから先生が尊敬されないと成り立たない。子どもたちに尊敬されている教師である私は、たとえ国王の前でも頭を下げるわけにはいかない」というものでした。その時に、その教育者を、ずいぶん小さな人間だと思った記憶があります。その理由には共感できなかったのです。しかし、今では一理あると感じています。教育は尊敬・敬意によって、最高の効果を生み出します。そのような関係性を作るための努力を教職員はしていけないと感じています。それと同時に、人を尊敬できる子どもを育てていくことが自らの学習能力を最大限に伸ばしていける道だとも思います。「山川草木皆師なり」自分以外を全て師とすることができれば、高い学習能力を持ったことになり、本当に豊かな人生を送ることができるように思います。尊敬と感謝を持って人生を歩むことができる子どもたちを育てられるように、職員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

最後に、親は自分の子どもが一番大事ですし、そうでなければ困ります。しかし、自分の子ども一人だけがいい子になることはできません。人は社会的な生き物です。ですから、自分一人だけが幸せになることはできないのだそうです。教育界において『掃き溜めに鶴』はあり得ないのです。「幸せになるなら、みんなで！」が鉄則のようです。非現実的だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、その方向を目指している間、社会は健全な流れ（幸せに向かう流れ）を保つことができると 생각합니다。自分の子がいい子になるためには、周りの子もいい子になってくれなくては無理なのです。そのためにPTAがあります。あらゆる組織は、そもそもみんなの幸せを目指して作られたのです。PTA会員みんなが手をつなぎ合って、江津東小学校の子どもがいい子になるよう、

そしてみんなが幸せになるよう、今後のPTA活動の充実に向けて、ご理解ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

1年生を迎える会

4月25日(月)に1年生を迎える会がありました。6年生が中心となって会を企画・運営してくれました。6年生としては、本格的に全校を動かすという経験は今年度初めてであり、ずいぶん緊張したと思います。しかし、丁寧な準備により、スムーズに楽しい会が運営されました。挨拶などの進行の手順や内容



もよく考えられていて、安心して見ることができました。会がスムーズに進みすぎて、時間に余裕ができたため、ゲームを追加することになりましたが、その変更にも柔軟に対応することができました。とても頼もしく感じました。これから最高学年として全校を動かし、リードしていくことの多くなる6年生です。今日の経験をもとに、これからも一層成長し続けていってほしいと思います。

また、1年生も、はじめをもって、しっかりと参加できました。落ち着いた立派な態度でした。ゲームへも積極的に参加していました。後で、ある1年生に「どっちのゲームがおもしろかったかな?」と聞いたら、「どっちも同じくらいおもしろかった!」とにこにこしながら答えてくれました。これからも楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。



交通安全教室

雨で一日延期となり、5月11日（木）に4名の警察官の方に来ていただき、交通安全教室を実施しました。子どもたちは真剣な表情で、教室に参加していました。交通量の多いところなど、危険箇所の多い地域ですので、安全への意識をしっかりと高め、自分の安全を守る力を高めていってほしいと思います。今日の交通安全教室を機会に、今後も引き続き、交通安全を含めて、安全教育を推進していきたいと思います。



児童集会



5月11日（木）に、今年度初の児童集会がありました。6年生の執行部がスムーズに進行し、二つの学年が立派な発表をしました。今年度の児童会のスローガンも発表され、「より一層、笑顔あふれる良い学校にしていきたいと思います」との呼びかけに力強く返事をしていました。6年生を中心に、全校で力を合わせて目標を実現させてほしいと思います。

お知らせ

今年度から、スクールカウンセラーとして、佐藤朋子先生が来られることになりました。佐藤先生は、特別支援学校や小学校の教員として豊富な経験を積まれたのち、島根県西部のスーパーコーディネーターとして、県内各学校の特別支援コーディネーターの先生方の指導に回られたり、昨年度までは、浜田教育センター相談室の指導主事として相談活動や学校への訪問指導をしてこられたりしました。手話も堪能です。勤務は1ヶ月に1回程度ですが、相談したいことがあれば、是非担当（山崎智子養護教諭）まで、ご連絡ください。

今年度の佐藤SCの勤務予定（13：00～17：00）

5月23日（火） 6月13日（火） 7月11日（火） 9月26日（火） 10月17日（火）
11月14日（火） 12月12日（火） 1月23日（火） 2月13日（火）

※変更になる可能性がありますので、ご了承ください。